

### クォータ科目の履修はどうするの？

英語、数学、物理の講義科目では、入学時に受けるプレースメントテストの結果により、第1クォータで履修する科目が決まります。必修科目までは自動的に履修登録されるので、春学期の履修登録期間には第1クォータと第2クォータ、秋学期の履修登録期間には第3クォータと第4クォータの履修科目を日本工大サポータルで確認しましょう。「応用解析」「物理Ⅱ」「化学Ⅰ」「化学Ⅱ」は登録期間に自分で履修登録をする必要があります。「工学基礎物理実験」は、履修するクォータが指定されるので確認しておきましょう。

### クォータ科目は怎么样って成績が出るの？

各クォータが終了するとすぐに合格が出ます。（ただし、成績はセメスターごとに出ます。）第1クォータの科目に合格したら第2クォータは次の科目に進み、不合格なら合格するまで第2クォータ以降も同じ科目を履修し直します。各教科の必修科目が合格するまで履修科目が自動的に更新されます。第1クォータが終了したら、第2クォータで履修する科目をサポートルで確認しましょう。

### クォータ科目の必修科目って？

英語科目の「リーディングスキルⅠ」「リーディングスキルⅡ」、数学科目の「数学」、物理科目の「物理Ⅰ」「工学基礎物理実験」が必修科目です。

### クォータ科目は進級とどんな関係があるの？

基幹工学部と先進工学部は必修科目の「数学」と「物理Ⅰ」の単位を修得しないと2年になれません。応用化学科は、これらの科目に加えて「化学Ⅰ」と「化学Ⅱ」の単位修得も2年への進級要件となっています。建築学部は2年になるためには言語系科目で2単位と理数系科目で4単位が必要です。2年から3年になるときには、どの学部でもクォータの必修科目を全て修得している必要があります。

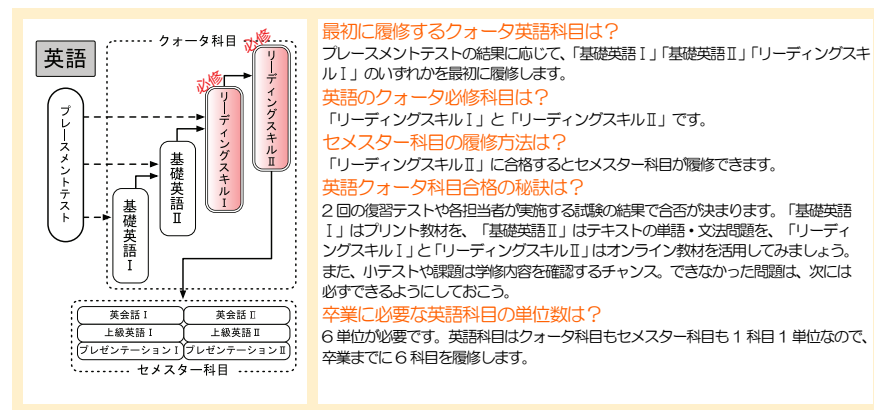
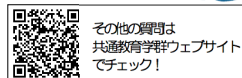
### クォータ科目 Q&A コーナー

Q. プレースメントテストの結果で指定された科目の、前の段階/次の段階の科目からスタートできますか？

A. プレースメントテストの結果で決められた以外の科目からのスタートはできません。自動登録された科目を履修しよう。（後から前の段階の科目を履修することもできません。）

Q. 履修登録画面で第1クォータの物理科目が空欄になっていますがどうしてですか？

A. プレースメントテストの結果で「物理Ⅰ」がスタートとなっているけど、数学の条件を満たしていないので、第1クォータでは物理科目を履修することはできない、という事だよ。第1クォータで「基礎数学Ⅰ」に合格することを前提に、第2クォータには「基礎数学Ⅱ」と「物理Ⅰ」が自動登録されているよ。



### 最初に履修するクォータ英語科目は？

プレースメントテストの結果に応じて、「基礎英語Ⅰ」「基礎英語Ⅱ」「リーディングスキルⅠ」のいずれかを最初に履修します。

### 英語のクォータ必修科目は？

「リーディングスキルⅠ」と「リーディングスキルⅡ」です。

### セメスター科目の履修方法は？

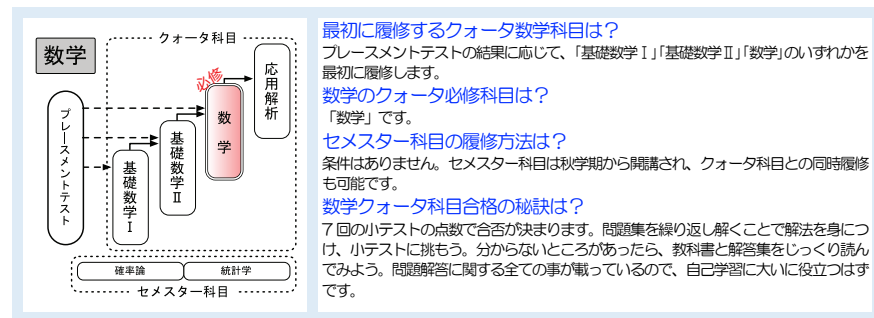
「リーディングスキルⅡ」に合格するとセメスター科目が履修できます。

### 英語クォータ科目合格の秘訣は？

2回の復習テストや各担当者が実施する試験の結果で合格が決まります。「基礎英語Ⅰ」はプリント教材を、「基礎英語Ⅱ」はテキストの単語・文法問題を、「リーディングスキルⅠ」と「リーディングスキルⅡ」はオンライン教材を活用してみましょう。また、小テストや課題は学習内容を確認するチャンス。できなかった問題は、次には必ずできるようにしておこう。

### 卒業に必要な英語科目の単位数は？

6単位が必要です。英語科目はクォータ科目もセメスター科目も1科目1単位なので、卒業までに6科目を履修します。



### 最初に履修するクォータ数学科目は？

プレースメントテストの結果に応じて、「基礎数学Ⅰ」「基礎数学Ⅱ」「数学」のいずれかを最初に履修します。

### 数学のクォータ必修科目は？

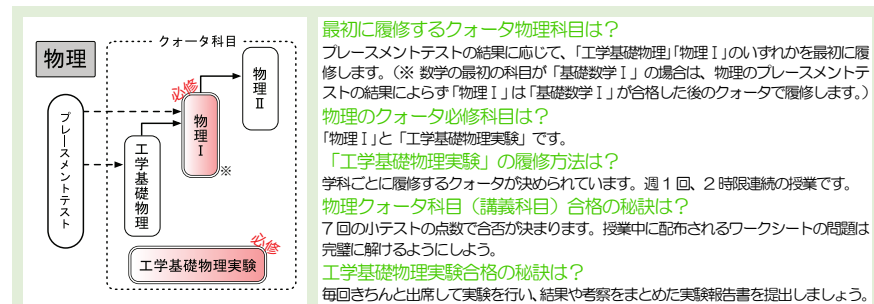
「数学」です。

### セメスター科目の履修方法は？

条件はありません。セメスター科目は秋学期から開講され、クォータ科目との同時履修も可能です。

### 数学クォータ科目合格の秘訣は？

7回的小テストの点数で合格が決まります。問題集を繰り返し解くことで解法を身につけ、小テストに挑もう。分からないところがあったら、教科書と解答集をじっくり読んでみよう。問題解答に関する全ての事が載っているの、自己学習に大いに役立つはずですよ。



### 最初に履修するクォータ物理科目は？

プレースメントテストの結果に応じて、「工学基礎物理」「物理Ⅰ」のいずれかを最初に履修します。（※ 数学の最初の科目が「基礎数学Ⅰ」の場合は、物理のプレースメントテストの結果によらず「物理Ⅰ」は「基礎数学Ⅰ」に合格した後のクォータで履修します。）

### 物理のクォータ必修科目は？

「物理Ⅰ」と「工学基礎物理実験」です。

### 「工学基礎物理実験」の履修方法は？

学科ごとに履修するクォータが決められています。週1回、2時限連続の授業です。

### 物理クォータ科目（講義科目）合格の秘訣は？

7回的小テストの点数で合格が決まります。授業中に配布されるワークシートの問題は完璧に解けるようにしよう。

### 工学基礎物理実験合格の秘訣は？

毎回きちんと出席して実験を行い、結果や考察をまとめた実験報告書を提出しましょう。

「化学Ⅰ」は第1・第3クォータに、「化学Ⅱ」は第2・第4クォータに開講され、いずれも選択科目です。履修する順番はどちらからでも構いません。応用化学科はこの2科目が2年への進級要件になっています。

### 【学修支援センター】

チューターの先生が、問題集やプリントを使い各教科の基礎を個別に指導してくれます。得意な教科や苦手な分野の基礎固めに最適です。特に「基礎英語Ⅰ」「基礎数学Ⅰ」「工学基礎物理」を履修する人は、積極的に活用しましょう。



### 【日本工大サポータル】

科目の開講状況に応じて、補講や支援センターでのサポートの指示を個別に出します。履修登録や成績の確認だけでなく、教員からの授業の連絡や呼び出しなどもサポータルを通じて行われるので、毎日チェックする習慣をつけましょう。

クォータ科目「ものづくり基礎実習Ⅰ」の受講についてはp.4を読んでください▶▶▶